

倉敷市(中国ブロック)

江戸・明治～：幕府直轄領となり、新田・塩田開拓が進む。明治期には近代産業の先駆けとして紡績業が発展
 昭和～：水島臨海工業地帯が形成され、我が国有数の重化学工業地帯として成長
 ～現在：人口約48.4万人、面積約354.73km²、中国地方第三の都市として岡山県西部の中核を担う

【計画期間 平成27年4月～32年3月】

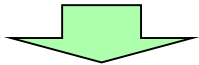
【前計画の概要】

○倉敷チボリ公園跡地、JR倉敷駅及び駅前商店街、倉敷中央病院、倉敷美観地区の4つの集客エリアにおいて、それぞれの地域資源や社会資本を活用するとともに、その個性を活かし調和の取れた美しい景観を保全・形成することで魅力ある拠点づくりを目指す
 (計画期間：平成22年3月～27年3月)

【中心市街地の変化】

- 電線類地中化と道路美装化により、町並み景観が向上するとともに、倉敷川畔沿いのみならず、商店街の歩行者通行量も増加
- 倉敷チボリ公園跡地にショッピングセンターとアウトレットモールが開業し、新たな広域集客拠点となり、多くの雇用を創出
- 一方で、中心市街地南北の更なる回遊の促進や、中心市街地内全体に賑わいの波及効果を行き届かせることが課題

【目指す中心市街地像】

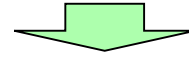


「世界に誇る伝統文化 居心地のよいまち くらしき」

【前計画の目標指標】

目標	指標	基準値	目標値(H26)	最新値
倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる	主要有料観光施設入場者数	581,592人(H20)	610,000人	526,598人(H25)
歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する	歩行者・自転車通行量(休日)	72,452人/日(H21)	74,000人/日	96,263人/日(H26)
(地元独自の目標) まちなかに人を誘導し、交流を促進する	(参考) 市民交流施設利用者数	353,000人(H19)	382,000人	597,223人(H25)

【新計画の目標指標】



目標	指標	基準値	目標値(H31)
倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる	主要有料観光施設入場者数	526,598人(H25)	610,000人
	歩行者・自転車通行量(休日)	96,263人/日(H26)	120,000人/日
歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する	居住人口	7,983人(H26)	8,800人
	市民交流施設利用者数	597,223人(H25)	600,000人

倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる

歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する

まちなかに人を誘導し、交流を促進する

【主要事業】
 ・(仮称)倉敷歴史顕彰館整備事業
 ・旧旅館東町再生整備事業
 ・(仮称)倉敷アイビースクエア施設整備事業
 ・(仮称)中心市街地町家・古民家イノベーション事業 など

【主要事業】
 ・阿知三丁目東地区第一種市街地再開発事業
 ・JR倉敷駅北ペDESTリアンデッキ魅力創出
 ・倉敷中央病院地域連携活動 など

【主要事業】
 ・ビオスの広場活用事業
 ・倉敷物語館周辺再生整備事業
 ・JR倉敷駅北大規模複合型商業施設増床 など

倉敷市中心市街地活性化基本計画の事業概要

倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、
まちの魅力を向上させる

① (仮称) 倉敷歴史顕彰館整備事業

町家、古民家、蔵等の貴重な歴史的建造物をリノベーションし、倉敷の歴史や文化を伝える顕彰館を整備



② 旧旅館東町再生整備事業

美観地区の東端に位置する休業した旅館を高質な広域集客拠点として再生・整備



③ (仮称) 倉敷アイビースクエア施設整備事業

明治22年築の倉敷紡績旧工場を観光施設として再生整備した倉敷アイビースクエアを、現在の景観を保持しながらバリアフリー・ユニバーサルデザイン等に対応した施設に整備するとともに、コンベンション機能の強化をはじめ外国人観光客の更なる集客を推進



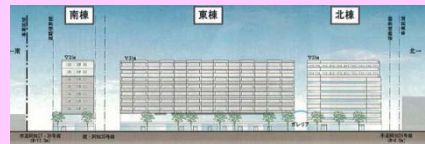
④ (仮称) 中心市街地町家・古民家イノベーション事業

中心市街地内で空き店舗・空き家となっている町家や古民家を、商店・シェアハウス・事務所等の新たな機能を持たせて再生整備し、美しい町並みの保持と新たな賑わい・活力創出拠点として構築

歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する

⑤ 阿知三丁目東地区第一種市街地再開発事業

JR倉敷駅と美観地区方面へ伸びる道路(倉敷中央通り)と商店街に挟まれる阿知三丁目東地区において、住宅・店舗・オフィス・公益的施設から成る地上9階建ての複合施設を建設



阿知三丁目東地区第一種市街地再開発事業イメージ図

⑥ JR倉敷駅北ペDESTリアンデッキ魅力創出

JR倉敷駅の南北を快適に移動できるように改善するとともに、デッキ上にあるステージを活用して、オープンカフェやイベント等を開催し、憩い空間を構築



⑦ 倉敷中央病院地域連携活動

前計画で整備・改築した倉敷中央病院において、病院内施設の開放や緑化推進など、周辺地域との連携を強化



まちなかに人を誘導し、交流を促進する

⑧ ビオスの広場活用事業

JR倉敷駅南の商店街の中央に位置する「まちづくりセンター/ビオスの広場」を賑わい・活力創出拠点として利活用



⑨ 倉敷物語館周辺再生整備事業

倉敷物語館周辺街区の店舗を町家・古民家再生手法でリノベーションし、「既存商圈に存在しないオンリーワンの提供」の魅力を持つ新たな集客拠点を構築

⑩ JR倉敷駅北大規模複合型商業施設増床

平成23年11月に開業したアリオ倉敷と同年12月に開業した三井アウトレットパーク倉敷を増床し、市外県外から新たな集客を図る

